



奈良県経済の概況

新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、足下では下げ止まりの動きがみられる

個人消費 百貨店・スーパー販売額は前年同月比 9 か月ぶりの増加

住宅着工 新設住宅着工戸数は前年同月比 3 か月連続の減少

公共投資 公共工事請負金額は前年同月比 4 か月ぶりの減少

雇用情勢 有効求人倍率は前月比 0.08 ポイント低下の 1.16 倍

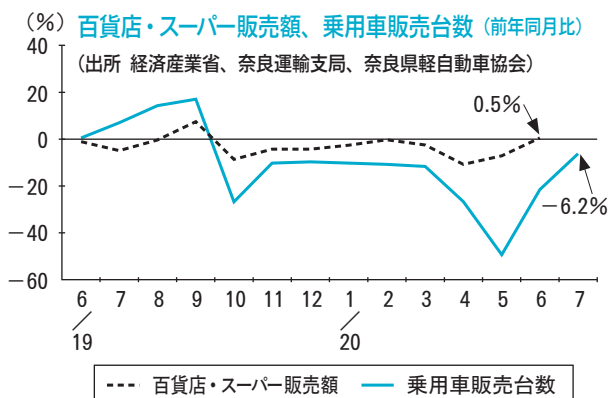
企業倒産 倒産件数は 3 か月連続の一桁台

生産活動 鉱工業生産指数は前月比 2 か月ぶりの上昇

1

個人消費

百貨店・スーパー販売額は前年同月比 9 か月ぶりの増加

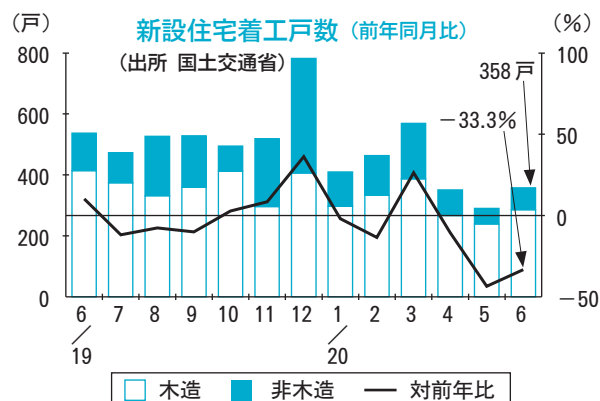


- 6月の百貨店・スーパー販売額（速報値、全店ベース）は前年同月比 0.5% 増の 181 億 53 百万円となり、9 か月ぶりの増加。
- 7月の乗用車販売台数は前年同月比 6.2% 減の 3,560 台と、10 か月連続の減少。普通乗用車は同 23.7% 減、小型乗用車は同 7.9% 減。軽乗用車は同 13.5% 増となった。

2

住宅着工

新設住宅着工戸数は前年同月比 3 か月連続の減少

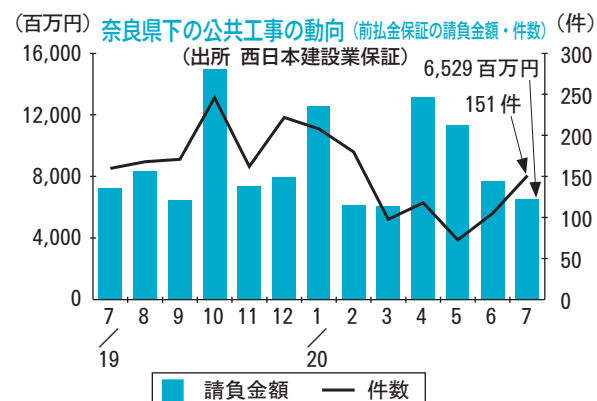


- 6月の新設住宅着工戸数は前年同月比 33.3% 減の 358 戸と、3 か月連続の減少。
- 利用関係別にみると、持家は同 26.2% 減の 200 戸と 3 か月連続の減少、貸家は同 54.8% 減の 56 戸と 2 か月連続の減少、分譲住宅は同 27.7% 減の 102 戸と 3 か月連続の減少となった。

3

公共投資 (西日本建設業保証の保証取り扱い)

公共工事請負金額は前年同月比 4 か月ぶりの減少

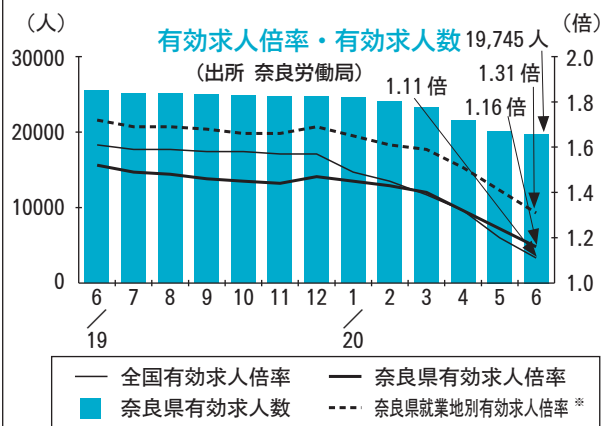


- 7月の公共工事請負金額の動向をみると、全体では前年同月比 10.1% 減の 65 億 29 百万円と、4 か月ぶりの減少。
- 発注者別にみると、国は同 28.6% 減、県は同 40.2% 増、市町村は同 17.4% 減。

4

雇用情勢

有効求人倍率は前月比 0.08 ポイント低下の 1.16 倍

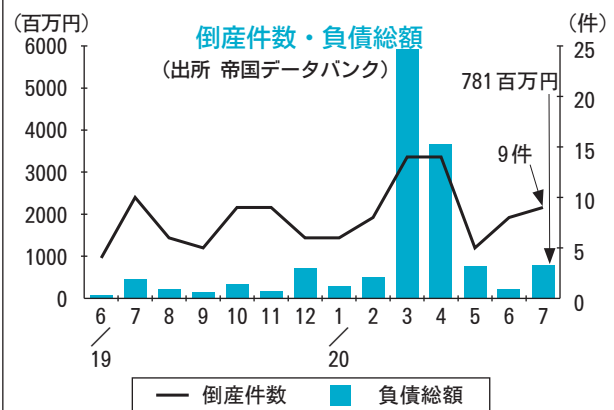


- 6月の有効求人倍率 (季調値) は前月比 0.08 ポイント低下の 1.16 倍となり、6か月連続の低下。前年同月比は 0.36 ポイント低下。
- 新規求人倍率 (季調値) は、前月比 0.35 ポイント低下の 1.68 倍と 2か月ぶりの低下。前年同月比は 0.55 ポイント低下。

5

企業倒産

倒産件数は 3 か月連続の一桁台

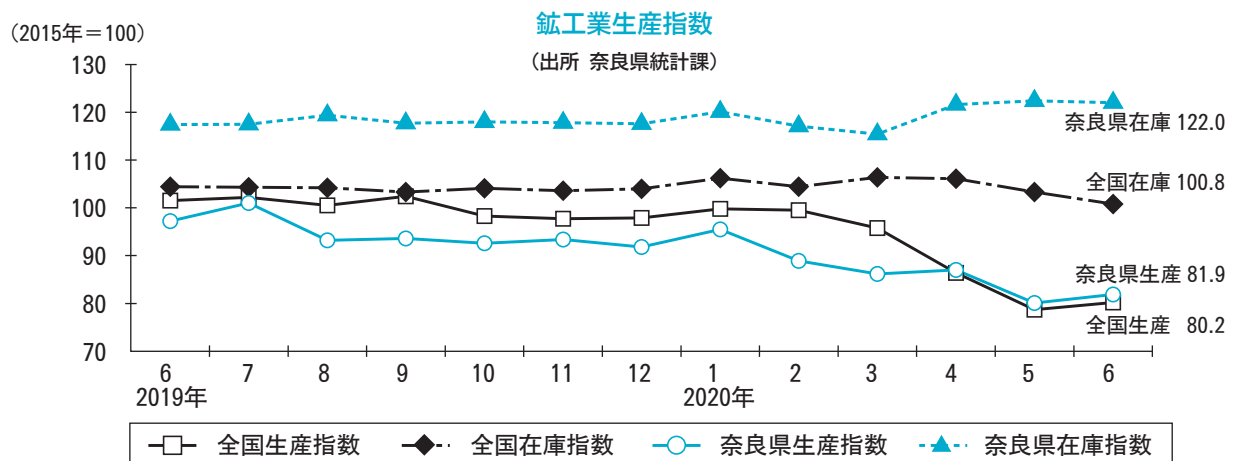


- 7月の倒産状況をみると、件数は前年同月比 50.0%増の 9 件となり、3か月連続の一桁台。負債総額は同 268.4%増の 7 億 81 百万円と 2か月ぶりの増加。
- 業種別では、小売業が 4 件、製造業が 2 件、建設業、運輸・通信業、サービス業が各 1 件。倒産形態では、自己破産が 8 件、民事再生法が 1 件であった。

6

生産活動

鉱工業生産指数は前月比 2 か月ぶりの上昇



- 6月の鉱工業生産指数 (季調値、速報値) は、前月比 2.2%上昇の 81.9 となり 2か月ぶりの上昇。原指数は前年同月比 15.7%低下の 82.4 となり 11か月連続の低下。在庫指数は前月比 0.3%低下の 122.0 となり 3か月ぶりの低下。
- 業種別生産指数の動きは、輸送機械工業、食料品・たばこ工業、生産用機械工業等の 11 業種が前月比上昇となる一方、電気機械工業、汎用機械工業、木材・木製品工業等の 6 業種が同低下。